



まつやま

市議会だより

No.348

2025年(令和7年)2月15日

編集・発行／松山市議会

ホームページアドレス <https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shigikai>

松山市議会

検索



議会開会前ミニイベントを開催しました



平松夕佳さんと愛媛コカリナサークル木音～kanon～の皆さんによる演奏

(8面に詳細記事)

令和6年12月
第5回定例会

令和6年度12月補正予算
127億6698万円を

原案可決

令和6年第5回定例会を、11月29日から21日間にわたり開催し、12月19日に閉会しました。

11月29日には、市長が予算案などの提案説明を行い、12月5・6日、9・11日には23人の議員が一般質問を行い、提出された議案および市政全般にわたり、活発な議論がなされました。

12月12・13・16日には6常任委員会を、17日には特別委員会を開催し、本会議で付託された議案や請願などについて、審査を行いました。

その結果、議案42件は、いずれも承認、原案可決あるいは同意、認定(継続審査分)2件のうち第1号は認定、第2号は剰余金の処分については原案可決、決算については認定となり、また請願4件については、不採択2件、継続審査1件、撤回承認1件の議決結果になりました。

なお、詳しい内容については「議案等議員別表 決結果一覧表」(6・7面)に掲載しています。

可決された主な議案

予算

本会議の審議を経て原案可決された令和6年度12月補正予算の主な事業は次のとおりです。

●坂の上の雲ミュージアム施設管理運営事業

坂の上の雲ミュージアムの効率的な施設管理を行うとともに、利用促進とサービス向上を図るため、債務負担行為を設定し次年度当初からの執行に必要な準備を行う。

●学校体育振興事業(水泳学習指導事業分)

水泳授業で民間施設のプールを活用する実証事業を行った番町小学校について、次年度からは本格事業実施とし、引き続き民間施設で水泳授業を行うため債務負担行為を設定する。

●マイナンバーカード交付事務事業

令和7年度から9年度にかけて増加が想定されるマイナンバーカードの電子証明書の更新手続きなどを円滑に進めるため、債務負担行為を設定し次年度当初からの執行に必要な準備を行う。

●産業廃棄物最終処分場適正管理事業

産業廃棄物最終処分場水処理施設の運転管理などを委託するため、債務負担行為を設定する。

●公共交通利用促進環境整備事業(シェアサイクル推進事業補助金)

市民や観光客の利便性を高める移動手段としてシェアサイクルサービスを普及し、定着させるため、債務負担行為を設定し、民間シェアサイクル事業者に対して環境整備に必要な費用を令和6年度と7年度の2力年で支援する。

●公園施設災害復旧事業

令和6年7月12日に発生した城山の土砂崩れにより崩落した斜面の本復旧工事などを行う。

●商店街等活性化事業

(地域経済循環創造事業(ローカル1000プロジェクト))
国の交付金を活用して、中央商店街に集客施設を整備する費用を補助し、商店街を活性化する民間の取り組みを後押しすること、まちのにぎわい創出や消費の拡大を目指す。

●農林土木災害復旧事業

令和6年11月2日の大雨で被害を受けた農道、ため池、農地などの復旧工事などを行う。

一般質問



岡 雄也 議員
(自由民主党議員団)

ならし保育を前月から実施することについて

問 ならし保育の期間が不足する場合には一時預かりなどで対応しているが、一時預かりは実施していない施設もあり、また、ならし保育は新しい環境に慣れる機会でもというわけではない。月初めから保育利用の希望に対し、ならし保育を前月から実施することについて、他都市の調査結果および本市の見解を問う。

答 中核市調査では、復職が月の初旬の場合、前月に入園できない弾力的な取り扱いをしているのは61市中22市であった。しかし、4月など入所申し込みが多い月や受け入れ可能な余裕がない場合には、取り扱いを中止することになり、公平性に課題があることから、本市では、子ども誰もが通園制度状況を見ながら慎重に検討したい。(子ども家庭部長)

問 相継ぎの申請義務化の周知、空き家バンクへの登録や相談体制の拡充、新規就農者へ農地付き空き家としての情報提供すること、外国人技能実習生などの宿舎としての利用、および空家等管理活用支援法人の指定について、本市の見解を問う。

答 申請義務化は、おくやみ窓口での案内や納税通知の際にお知らせしており、エンディングノートを活用など、さらなる周知に努める。相談体制は、無料相談の受け入れ体制の拡充や合同相談会の開催など、協定団体との連携を強化し、空き家バンクの登録増加にもつなげたい。新規就農者へは、農地周辺の空き家も探しやすいよう情報提供に努めたい。技能実習生の宿舎としての活用は有効であるため、所有者に入居対象者の条件などを確認し、情報発信の方法を検討したい。支援法人の指定は、協定を結んでいる10団体と連携して業務に取り組んでいるため、現時点では指定は考えていない。(開発建設部長)

(その他の質問事項) 地方創生への取り組み、103万円の壁問題、松山駅周辺整備、シェアサイクル、がん検診、子育て支援と産後ケア、松山市費上り応援奨励金



池田 美恵 議員
(フロンティアまつやま)

汚水で汚染されないための対策について

問 市中心部では汚水と雨水を合わせて下水道に流している区域があるが、11月の集中豪雨では、排水能力を超えて逆流する恐れがあることを実感した。汚水で汚染されることのないよう、排水能力の増強や分流式にすることへの所見を問う。

答 汚水と雨水を同一の管渠に流す合流式下水道は、大量の雨水が流れ込んだ際、排水能力を上回る可能性があることから、これまで、排水能力を補うための増補管や、雨水を一時的に溜める雨水貯留槽を整備した。さらに分流化が可能な場所では、家屋などの建て替え

空き家対策と活用について

問 相継ぎの申請義務化の周知、空き家バンクへの登録や相談体制の拡充、新規就農者へ農地付き空き家としての情報提供すること、外国人技能実習生などの宿舎としての利用、および空家等管理活用支援法人の指定について、本市の見解を問う。

答 申請義務化は、おくやみ窓口での案内や納税通知の際にお知らせしており、エンディングノートを活用など、さらなる周知に努める。相談体制は、無料相談の受け入れ体制の拡充や合同相談会の開催など、協定団体との連携を強化し、空き家バンクの登録増加にもつなげたい。新規就農者へは、農地周辺の空き家も探しやすいよう情報提供に努めたい。技能実習生の宿舎としての活用は有効であるため、所有者に入居対象者の条件などを確認し、情報発信の方法を検討したい。支援法人の指定は、協定を結んでいる10団体と連携して業務に取り組んでいるため、現時点では指定は考えていない。(開発建設部長)

(その他の質問事項) 地方創生への取り組み、103万円の壁問題、松山駅周辺整備、シェアサイクル、がん検診、子育て支援と産後ケア、松山市費上り応援奨励金

松山駅周辺地区車両基地跡地の整備について

問 基本計画の策定において、アリーナと小規模ホールを整備することとを決定して検討しているのか、それとも、アリーナと小規模ホールも目安と捉えて協議していくのか。また市民に対しての説明や意見を求めるのはいつ頃か、基本計画策定の状況と見通しを問う。

答 11月に開催した第1回の施設整備検討会では、市が示した5千席規模のアリーナと小規模ホールの案について有識者や関係団体からさまざまな意見を頂いた。基本計画の策定は年度末を目指して進めており、12月に開催するワークショップや、今後実施するパブリックコメントなどで市民の声を聞きながら丁寧に検討を進めたい。(坂の上の雲まちづくり部長)

(その他の質問事項) 集中豪雨



太田 幸伸 議員
(公明党議員団)

避難所の備蓄物資について

問 指定避難所となる学校が円滑に避難所を開設できるよう、備蓄物資は二元管理する必要があるが、管理状況について伺う。また、備蓄物資がスムーズに管理できるよう、全ての学校に備蓄物資用の防災倉庫を設置すべきと考えるが所見を伺う。

答 分散備蓄を進めるため、避難所となる学校と事前に調整し、令和元年度と2年度で、必要に応じて既存施設の改修や収納棚ストックハウスなどを整備し、備蓄物資の管理を行ってきた。こうした中、一部の学校では備蓄物資と学校の備品などが混在している状況を確認している。今後、施設管理者と協議し、必要に応じてさらなる備蓄スペースの確保や防災倉庫の設置



土井田 学 議員
(新風会)

PFAS(有機フッ素化合物)による環境汚染とレグ問題について

問 レグ最終処分場の施設や設備、さまざまな検査結果などについて、適正な維持管理ができていないのか。また、河川へ放流している処理水や、調査井戸が4カ所しかない周縁部分と下流の井戸についても本数を増やし、PFASに関する詳しい検査や監視を定期的にを行うべきと考えるが、見解を問う。

答 処理水などの水質や埋め立て地からの漏水、斜面の変化などのモニタリング調査を継続して行っているが、特にトラブルなどはなく、調査結果は専門家で構成されている審議会に報告し、問題ないとの評価を受けていることか

についても検討したい。(防災危機管理部長)

市立小・中学校の体育館の暑さ対策について

問 災害時は避難所にもなる体育館の暑さ対策として、すぐにはエアコン設置が難しい場合、大型冷風機などを導入し対策を実施すべきと考えるが見解を伺う。

答 大型扇風機の配置や、熱中症計の暑さ指数に基づく学校活動を行うなどの熱中症対策に取り組む中、大型冷風機やスポットクーラーを導入している自治体を視察したところ、それらと大型扇風機を組み合わせ使用することで、活動中の子どもたちに冷たい空気を送る工夫をしていた。体育館での熱中症対策はエアコン整備が効果的と考えているが、一定効果が認められる冷風機などを含むさまざまな手法について、検討していきたい。(教育長)

(その他の質問事項) 豪雨による浸水対策、恒生地区の内水氾濫対策、自転車の安全利用、オストメイト支援、ひきこもりの支援、ランニングバイクの利用スペース整備、EVバスの充電施設整備、アリーナ整備

ら、適正に維持管理ができていないと認識している。またPFASの定期的な検査は、地下水の状況や法規制の動きに応じて検討していくが、実施の際には、従来の項目と同様に、設置義務がある水質監視井戸に加え、監視強化のために設置した4カ所の井戸も対象に、処理水と併せて検査を行うっていくよう考えている。(環境部長)

拉致問題について

問 本市の特定失踪者の関係者への対応について問う。

答 愛媛県警が情報提供を呼び掛けている拉致の可能性を排除できない事案に係る本市関係の2人について、県警から提供を受けた氏名や写真を人権啓発展で掲示している。引き続き県警と連携しながら、市民に2人の存在を知らせ、関心を寄せてもらうよう努めていく。(市民部長)

(その他の質問事項) 本市のブランドスローガン、職場環境、職員のモチベーション



池本 俊英 議員
(みらい松山)

保育環境について

問 本市の保育施設へ年度途中に入所を希望した場合、多くの人が入所を断られるか、数カ月待たされている。希望する保育施設に全員入所できる松山市を目指し、今後どのような改善を進めるのか所見を問う。

答 国の定義する待機児童ではないが、入所できていない児童が相当数おり、年度末に向けて増加する状況にあるため、今後はこうした課題の解消を目指した保育体制づくりに取り組むことが必要と認識している。まずは保育士確保のため、復職時の入所予約を受けた場合、入所までの保育士の人員費を助成するなど、市独自に保育士を確保しやすくなる対策を実施している。今後は必要に応じて、入所できていない児童の解消に向けたさまざまな方策を子ども・



松波 雄大 議員
(ともに松山)

不登校支援について

問 不登校の子どもたちにとって、フリースクールは学びの場であり心の支えでもある。フリースクールの運営を支えるため、運営資金や利用者への支援について、今後の取り組みを問う。

答 フリースクールは、学校に行きづらい児童生徒にとって、人となりが、さまざまな体験活動や学習に向かう土台づくりができる、学校や家庭以外の居場所になっていると認識している。現在、愛媛県フリースクール等連絡協議会などの意見交換会や施設訪問を通して、施設の運営状況や利用者の状況などをお聞きしていることか

(その他の質問事項) 保育分野のデジタル化、環状線延伸に伴う高架エリアの活用、道後の活性化と道後温泉まちづくりアート事業の推進

育会議で議題にし、保育現場の実情に応じた給付金の改善を国に要望するとともに、県にも年度途中の入所数拡大をターゲットにした新たなメニューの検討を提案したい。(子ども家庭部長)

宿泊税の導入について

問 観光分野への持続可能な取り組みには、安定した財源が必要ことから、宿泊税導入について早く検討すべきだと思いが、現時点までに調査研究した内容および今後の方針や導入時期について所見を問う。

答 宿泊税を導入している自治体の導入までのスケジュールや議論の経過、課税要件や使い道などを調査研究するとともに、国際観光文化都市が加盟する国際都市建設連盟の会議で宿泊税の検討状況や抱える課題などについて意見交換や情報共有を行っている。現在、市議会産業経済委員会、宿泊税の導入も含む松山市観光戦略プランの策定について調査研究を行っており、今後の提言内容も踏まえて検討していきたい。(産業経済部長)

(その他の質問事項) 11月2日の大雨災害に伴う農地や農業用施設の復旧、国民健康保険料の見直し、松山市立子規記念博物館の取り組み

松山市民会館の建て替えと今後の計画について

問 9月に松山駅周辺地区車両基地跡地にアリーナを整備する方針が示された。市民会館とアリーナでは役割や機能が異なるが、松山市民会館に代わる新たなコンサートホールの建設計画について、現時点での方針を問う。

答 新たなコンサートホールの建設計画については現在のところはないが、これまでも音楽関係者からホールに関する要望をいただいていることから、内容を十分に精査した上で、今後の車両基地跡地の施設整備検討会で検討していきたい。(坂の上の雲まちづくり部長)

(その他の質問事項) 保育分野のデジタル化、環状線延伸に伴う高架エリアの活用、道後の活性化と道後温泉まちづくりアート事業の推進

一般質問



清水 義郎 議員
(まつやまチェンジアクション)

本市における地域のインクルージョンについて

問 令和6年4月1日施行の改正児童福祉法では、児童発達支援センターに求められる機能の一つに「地域のインクルージョン推進の中核機能」が挙げられている。地域のインクルージョンについて本市はどのようにあるべきと認識しているか。またその推進のために、地域障害児支援体制中核拠点が担う役割についての見解を問う。

答 地域のインクルージョンについて、障がいのある無関係に問わず、子どもたちが身近な地域で育ち、暮らしていく社会をつくっていくことが大切であると認識している。そこで、地域障害児支援体制

中核拠点である児童発達支援センターは、その専門性を生かし、個別支援だけでなく、障がい児が利用する関係機関と連携し、保育所などの併用や移行を推進するなど、地域で障がい児が成長していくための体制をつくる役割があると考えている。(福祉推進部長)



向田 将央 議員
(自由民主党議員団)

「年収の壁」を超えた場合の支援制度の情報発信について

問 令和5年10月から厚生労働省では、「年収の壁」を超えても手取り収入が減らないようにするための対策を盛り込んだ「年収の壁・支援強化パッケージ」を始めているが、その存在を知らない市民も多い。市民生活に直結し、事業主にも非常に役立つ制度だと思うため、このような情報を、政府だけでなく本市からも発信する必要があると考えるがどうか。

答 今後、ホームページや広報紙で制度を紹介するほか、企業向け支援メニューの利用者や経営相談に訪れた事業者などに制度を案内するなど、事業を所管する労働局と連携して周知に努めたい。(産業経済部長)

本市の広報事業について

問 本市の広報について、担当部署ごとで情報を発信している理由を問う。また、以前は広報課が本市の広告を把握していたと聞けが、当時の広報課の業務内容および現在のシティプロモーション推進課との違いを問う。

答 本市の業務は健康・福祉や産業・交流など多岐にわたるため、各課の取り組みを短時間で正しく伝えるために、業務を熟知している担当課が情報発信を担っている。広報課の業務内容とシティプロモーション推進課との違いは、広報課では広報紙やテレビ、ラジオなどの業務や、各課の広告料の管理も担っていたが、組織改正を機に、広告料は各課で管理し、シティプロモーション推進課ではそれ以外の広報課の業務に加えて、本市の都市ブランド価値を向上させるため、市内外へのプロモーション活動などを担当している。(総合政策部長)



泉 早苗 議員
(公明党議員団)

ケアラー支援条例制定について

問 地方自治研究機構によると、令和6年11月時点で、31の自治体がケアラー支援条例を制定している。支援条例の制定により、ケアを自分の事と捉え、ケアラーの権利と擁護を明らかにし、社会でケアラーを支える機運につながっていく意義は大きいと考えるが、本市において支援条例の制定を検討することについて見解を問う。

答 社会全体でケアラーを支えるためには、関係機関と連携し、本人の意向を尊重することや孤立させないことを重視した支援でなければならぬことを認識し、支援が必要な人や支援を行っている人を重層的に支え

る体制を整えている。ケアラー支援条例の制定については、他市の状況を参考に調査研究していきたい。(福祉推進部長)

災害対策について

問 耳で聴くハザードマップについて本市の認識を伺う。また、県と連携して導入を検討することについて見解を問う。

答 耳で聴くハザードマップは、現在地の災害リスクや最寄りの避難場所への誘導などをスマートフォンアプリで音声化するもので、障がいのある人に防災情報を伝達する手段の一つとして有効だと認識している。耳で聴くハザードマップの契約対象は都道府県、政令市、特別区であり、本市で利用するためには、県と運営事業者との契約が必要となる。本市としては、導入自治体での活用状況を踏まえ、必要に応じて県への働きかけを行っていく。(防災危機管理部長)

（その他の質問事項）

がん対策、認知症高齢者の社会参加、補聴器等購入に対する助成制度の請願に係る取り組み



若江 進 議員
(みらい松山)

サブセンターの活性化策について

問 旧三津の朝市の跡地や水産市場内の関連店舗棟や冷蔵庫棟を利用し、公設民営の魚介を中心とした飲食も提供できるような中核となる拠点施設を整備すべきと考えるが見解を問う。

答 三津浜地区の拠点施設の整備については、平成25年に多角的な検証をするため事業化可能性調査を行った。その結果、まずは古民家や空き家などを活用して新規出店を促進し、整備の条件が整った段階で検討することとしている。そこで、三津浜地区の集客力を高めるため、にぎわい創出の拠点となる三津ハマルを設置し町家バンクを運営するとともに、チャレンジショップや

企業立地・産業創出に向けた取り組みについて

問 本市に進出を希望する企業に対し、市が用地確保などの支援を積極的に行うことについて見解を問う。また、具体的にどのような協力を行っているのかを問う。

答 企業誘致は、市内経済の発展や若者が市外に流出するのを抑えられるため、市が企業の用地確保などを積極的に支援するのは重要と認識している。具体的な協力は、企業から進出の相談があった際に、土地やオフィスの空き情報を入手し企業へ速やかに提供したり、開発行為や農地転用の許可など土地の利用調整が必要な場合、企業と関係部署との協議に企業誘致の担当職員が同席し、事業計画の説明や要望が円滑に進むようサポートしている。(市長)



矢野 尚良 議員
(フロンティアまつやま)

移住・定住支援の施策と保育担当部署との連携について

問 子育て世帯の移住・定住を促進するため、幼稚園や保育園の移住者専用の入所枠を設けることや、担当課は縦割りではなく、ワンストップで移住・定住支援の施策との連携が取れることが望ましいと考えるが、所見を伺う。

答 現在、まちづくり推進課の移住相談窓口には、保育・幼稚園課での相談を案内しているが、今後は、移住相談窓口で相談の際に保育・幼稚園課の職員が同席するなど、移住希望者がワンストップで相談できるような対応をしていく。なお、現状では移住者専用枠

車両に貼るヘルプマークの無料配付について

問 本市は公共交通が脆弱であり、自動車に乗らざるを得ない環境にある。そこで、本市が車両に貼るヘルプマークを作成し、支援や配慮を必要としている人に無料配付することについて、見解を伺う。

答 ヘルプマークの作成については、既存のシンボルマークやパーキングパーミット制度との兼ね合いも踏まえ、商標登録を行っている東京都や愛媛県と十分検討する必要がある。また無料配付については、適切な利用が求められることから、必要性や配付理由を明確にするのと、他市の状況なども参考にしながら調査研究していきたい。(福祉推進部長)

（その他の質問事項）

公共交通利用促進環境整備事業、移住・定住支援、保育環境



門田 寛子 議員
(新風会)

JR松山駅周辺整備について

問 11月2日の大雨では、本市の排水能力の約2倍に当たる時間雨量78ミリの降雨があり、9月にオープンした新駅舎が浸水した。新駅舎はJR四国の所有であることは承知しているが、今後、本市が駅の周辺整備をしていく上での対策を問う。

答 JR四国が旧駅舎や旧線路を撤去した後、土地区画整理事業により駅周辺を計画通りの地盤高にするとともに、水路などの整備を進めることで、浸水対策が図られるものと考えている。(都市整備部長)

配慮が必要な子どもの状況と課題について

問 保育所などでの配慮が必要な子どもの受け入れ状況や現場での今後の課題について問う。

答 10月1日時点で、市内の保育所、認定こども園などに在籍する子ども10998人のうち、発達支援事業所などの療育機関を利用している人数は544人、利用していないが配慮を必要とする人数は754人。園では、医療や療育などの専門機関につながっている場合は、保護者、関係機関、園の三者で作成する個別支援計画を基に保育している。今後、保育士確保が困難な現状の中で、子どもの個性や発達、育ちの環境を理解して保育できる人材の育成、きめ細かな支援ができるチーム作りなどをさらに進めていくことが課題と考えており、子どもの発達理解を深める研修や関係機関との連携に取り組んでいる。(こども家庭部長)

（その他の質問事項）

認定新規就農者を目指す人から相談があった場合の対応、就農候補者に対するJAの研修内容、保育所と認定こども園の配置基準

一般質問

渡邊 啓之 議員
(まつまチエンジアクション)

避難所の環境について

問 避難所生活の中で性被害を出さない、出させない環境づくりに対して、どのような対応をとっているのか問う。

答 本市の避難所運営管理マニュアルでは、運営にあたる女性の割合を3割以上とし、世帯単位で間仕切りを設けたり、トイレや入浴場所、洗濯場などのレイアウトに配慮するほか、専用の更衣室や授乳室の確保、照明の設置などを定めているほか、犯罪防止や対策を呼びかけるポスターの掲示や巡回パトロールを行い、警察とも連携しながら、誰もが安心して生活できる環境づくりに取り組むこととしている。(防災危機管理部長)

LGBTQの医療関係問題について

問 LGBTQ当事者や事実婚の方々が安心して医療機関を受診できるようにするために、どのような課題をどう解決することが必要か、本市と医療機関が連携し、丁寧に対応していくことが重要と考え、これから施行される本市のファミリーシップ制度について、どのように医療関係者に理解を求め、連携をとっていくのか問う。

答 ファミリーシップ制度の導入にあたっては、関係団体や事業所に対し制度の周知に努め、協力を依頼していく予定である。医療面では、性的マイノリティの方が不安を抱えていることを認識しており、制度の利用者が緊急時の連絡先の指定など、家族として手続きがスムーズに行えるよう医療機関へお願いする予定である。また制度の利用者に限らず、性的マイノリティの方全般への配慮にも取り組んでいきたい。個々の医療機関に働きかけていきたい。(市民部長)

(その他の質問事項)

聴覚障がい者への支援

大亀 泰彦 議員
(フロンティアまつやま)

投票率向上に向けた取り組みについて

問 7月の東京都知事選や11月の兵庫県知事選ではSNSを積極的に活用し投票率向上につながった。また、最近広がりつつある選挙割も、投票率向上と地域経済活性化につながる取り組みだと思うが、SNSや選挙割の活用など、投票率向上に向けた今後の取り組みについて問う。

答 若年層や働き盛り世代の投票率の低さが課題で、単なる周知にとどまらず、投票することの意義と選挙に関心を持ってもらえる取り組みが必要と考えている。フォロー数の多いインスタグラマーとのコラボレーション企画などSNSでの広報を充実させ、より多くの若者に選挙の重要性を訴

え、投票を呼びかけていきたい。また、幅広い層への関心を高め、地域経済の活性化も期待できることから、選挙割の導入を目指して調査研究していく。(選挙管理委員会委員長)

松山市駅前広場整備事業について

問 軌道線・電停の移設工事の詳細なスケジュールおよび人と交通の共存する空間づくりの留意点について問う。

答 軌道線・電停の移設工事は10月から開始しており、令和7年3月頃から新たな軌道線のレールを設置し、8月下旬に旧軌道線から切り替え、新しい電停の運用を開始する予定である。人と交通の共存する空間づくりについては、各乗り場の近接化やバリアフリー化など公共交通の利便性の向上を図るとともに、沿道商店街のファサード整備を含めた景観整備によるにぎわい創出を図る。また安全対策として、軌道敷と広場や歩道が近接する箇所に柵や植栽を設置し、車道と軌道敷との交差点には警報器や路面標示などを設置する。(都市整備部長)

(その他の質問事項)

市民所得

松本 久美子 議員
(自由民主党議員団)

教育の保障について

問 本市では令和3年から授業をオンラインで視聴できる環境を整えているが、不登校児童生徒が年々増加している中、授業のオンライン配信の状況を問う。また、授業の視聴や課題の提出を出席とみなすことやオンラインでの学習活動の記録などを基に成績評価を行う教育制度の導入について問う。

答 オンライン配信は、本人や保護者からの要望、学校からの働きかけにより、今年度も多くの小・中学校で行っている。出席扱いには、令和元年度の文部科学省からの通知を受け、保護者と学校との間に十分な連携・協力体制が保たれているなどの要件を満たしていれば、学校は出席扱いにしている。加えて、学習の

梶原 時義 議員
(新風会)

新JRR松山駅が今後浸水しないための対策について

問 新駅舎のフロアレベルは、浸水被害が全くなかった旧駅舎より1.8メートルも低く、また以前の線路レベルよりも90センチメートルも低いと聞く。県都松山の交通拠点であり、全国から観光客を迎える新しいシンボルにふさわしい陸の玄関でなくてはならないが、市民や観光客が安心して利用できる駅にするために、本市でできる一度と浸水させない対策を問う。

答 JR四国が旧駅舎や旧線路を撤去した後、土地区画整理事業により駅周辺を計画通りの地盤高にするとともに、水路などの整備を進めることで浸水対策が図られると考えているため、これらの

計画や学んだ内容が適切と判断できる場合は成績評価も可能である。今後も、学習などに対する意欲やその成果を評価し、学校復帰や卒業後の進路選択につながるよう支援していく。教育委員会事務局長

ICTを活用した教育のビジョンについて

問 教育現場でのICT活用が特別のことではなくなった今、子どもたちにどのような教育を提供したいと考えているのか。

答 一人一台端末などのICTは、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る上で必要不可欠な学習基盤であると捉え、活用を進める。このような学びを通して、児童生徒一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながらさまざまな社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることのできるようにしていきたい。(教育長)

(その他の質問事項)

新生児聴覚検査、GIGAスクール構想第2期

仕事を速やかに進めたい。(都市整備部長)

バス利用者に配慮して可能な限りバス停にベンチを設置していくべきではないか

問 溝辺町の下り湯の山ニュータウン行きの岩塚バス停は、ベンチ設置要件は満たされているが、要望から2年以上たっても設置に至っていない。伊予鉄バスや関係機関が要望に応えないならば、本市が設置の予算を付けるべきだと思うがどうか。

答 これまでベンチの設置は、事業者による占用許可または各道路管理者による道路附属物での設置のいずれかで、それ以外の事例はない。そのため、県の管理道路にある岩塚バス停に本市が設置する予定はないが、将来、バス路線の変更や病院など周辺環境に変化があれば、事業者や道路管理者と協議していきたい。(都市整備部長)

(その他の質問事項)

マイナ保険証の利用実態および保有していない市民への資格確認書交付の詳細、市役所への電話のガイダンス付自動録音の導入は再検討すべきでは

家高 佐苗 議員
(公明党議員団)

ぴったリサービスの導入について

問 マイナポータルサービスの一つであるぴったリサービスは、不在者投票用紙のオンライン請求ができ、全国的に広がりを見せているが、本市での導入について所見を問う。

答 デジタル庁が公表した資料では、令和6年3月時点で約4割の自治体で、ぴったリサービスなど不在者投票用紙の請求をオンライン化している。今後予定されている投票システムの改修とあわせて、不在者投票用紙のオンライン請求機能を、令和8年に予定されている市議会議員選挙で導入することを目指して準備を進めている。(選挙管理委員会委員長)

田中 エリナ 議員
(まつまチエンジアクション)

観光産業振興について

問 本市の基幹産業となる観光産業振興につながる消費額増加、稼ぐ観光産業のために、国内外からの誘客に取組むための体験型コンテンツの充実とガイドの育成について、考えを問う。

答 まち歩きガイド「松山はく」が案内する遍路体験のほか、着物での道後温泉周辺の散策やお茶屋体験などの体験型コンテンツをつくり、旅行会社のウェブサイトで販売している。また、「松山観光ボランティアガイド」に加え、新たに多言語での観光案内ができる「まつまインバウンドボランティアガイド」を育成し、令和6年12月から活動する。今後も関係機関と連携し、さまざまな観光客に対応でき

移動期日前投票所の導入について

問 誰もが安心して投票できる環境づくりに関する本市の取り組みを問う。また四国中央市では、若者の投票支援で、県立高校3校に移動期日前投票所を開設している。移動期日前投票所は、投票所に行くのが困難な有権者も投票しやすい取り組みだが、本市も導入してはどうか。

答 投票所へのスロープや車いすの配置、投票支援カードやコミュニケーションボードの導入のほか、子どもと一緒に投票所に入れる「親子連れ投票」をPRした。車両を利用した移動期日前投票所については、駐車スペースやテント設置時の安全確保などの課題があるが、投票機会の向上を目指すには有益な取り組みであるため、本市の実情に合った投票所の在り方を見直す中で、検討していきたい。(選挙管理委員会委員長)

(その他の質問事項)

入札契約事務の電子化、奨学金制度の手続の簡素化、生活困窮者自立支援法等の一部を改正する法律

るガイドを育成することともに、より魅力ある体験型コンテンツを充実させ、一層、旅行者の満足度を高めていく。(産業経済部長)

本市の公共施設について

問 建設が発表されたアリーナに関し、時代に即した建設運営方法についての検討状況および関係各所との連携の重要性に対する本市の考えを問う。

答 建設運営方法については、プロスポーツやコンサートなど新しい需要への対応や、高い稼働率の維持に、収入を増やし低コストで運営している他都市の事例などを参考に、今後、有識者や関係団体で構成する会で検討するほか、基本計画を基にサウンディング型の市場調査を実施し民間からの提案を募集していく予定である。関係各所との連携は、事業を進める上で重要であると認識しており、丁寧に情報共有していきたい。(坂の上の雲まつくり部長)

(その他の質問事項)

城山の土砂災害、市駅前広場の整備、都市ブランド戦略プラン



佐々木 亨 議員
(公明党議員団)

就学時の教育相談 体制について

問 就学前に保護者が、特別支援学校や特別支援学級など学びの場を検討する際には、専門的なアドバイスを受ける必要があると思われるが、本市の相談体制について問う。

答 年長児を対象として、専門的な知識や指導経験を持つ教員、教育委員会の特別支援教育指導員などが、就学に向けた教育相談を行っている。教育相談後は、有識者が構成された松山市教育支援委員会や特別支援学校や特別支援学級での学びや通級による指導の必要性を審議し、その結果を教育委員会が保護者と各学校に通知し



本田 精志 議員
(松山一粒米の会)

市民会館利用者が今後 活動する施設について

問 市民会館が利用できなくなった後、利用してきた多くの市民は、今後どの施設を利用すれば活動が継続できるのか。また、現在の市民会館の機能を引き継ぐような新ホールを建設する考えはあるのか問う。

答 市民会館をそのまま引き継ぐような新ホールを建設する予定はないが、利用者の活動継続については、車両基地跡地での整備を目指す小規模ホールを、市民が求める文化活動の場とするため検討するとともに、利用者や関係団体の声を聞き取り、県民文化会館や総合コミュニケーションセンターのカメラリアホールなど既存施設との役割分担を検討

ている。保護者と各学校は、その助言を基に、入学前に本人に合った学びの場や必要な支援について話し合っ決定すること、スムーズな就学につなげている。(教育委員会事務局長)

食品販売等臨時 出店について

問 イベントなどに伴い、簡易的な店舗で短期間食品の提供を行う場合に提出する食品販売等臨時出店報告書について、その目的と周知方法を問う。

答 イベントなどでの食品の衛生的な取り扱い方法の説明や注意喚起を個別に行うことを目的として、報告書の提出をお願いしている。周知については、広報まつやま、市ホームページへの掲載に加え、食品衛生に関する講習会で情報提供している。今後は、関係課と連携するなどし、学校や公民館、関係団体へ広く周知したい。(健康医療部長)

(その他の質問事項)
介護事業所の運営指導、がけ崩れ防止について。(坂の上の雲まちづくり部長)

都市ブランド戦略について

問 今回発表された新しいブランドスローガン「幸せになるう。」はどのような意図で生まれたのか。またその過程について問う。

答 ブランドスローガンは「これからの松山を考えると、学生や各種団体とのワークショップ、市民や県外在住者の意識調査、移住者へのインタビューなど、市民の声を聴く機会を重ねた。その中で、松山には「海・山・自然の近さ」や「まちのコンパクトさ」穏やかな人と気候などの魅力があり、それらの魅力は、人が「幸せを築く」ための種だと考えた。それを市民と守り、育て、また新しい種を見つけたら、ともに手を取り合っ歩んでいけば、個としての「幸せ」が、たくさん集まるように、と「幸せがつながるまち」になつていくと考え、新スローガンを「幸せになろう。」とした。(総合政策部長)

(その他の質問事項)
JR松山駅周辺のまちづくり、坊っちゃん列車の運行支援、広報紙



杉村 千栄 議員
(日本共産党議員団)

松山市賃上げ応援 奨励金について

問 これまでの制度活用状況および利用した事業主からの感想について問う。また追加募集で、社会福祉法人、医療法人も対象となった経緯を問う。

答 第1回と第2回受付分を合わせて714事業者、3300人分、1億6500万円を給付する見込みである。第1回の平均賃上げ率は正規従業員5.4%、非正規従業員9.1%で、事業者からは「制度を活用することで賃上げに踏み切ることができた」「年内に2度の賃上げを実施することができた」、労働組合からは「企業の賃上げを後押ししている」「物価高騰の中、従業員の収入増加

につながっている」などの評価をいただいている。対象拡大については、介護・医療の事業者から、厳しい経営状況の中、賃上げを実施しているため、給付対象にしてほしいとの要望を受け、社会福祉法人、医療法人を対象に加えた。(産業経済部長)

問 マイナ保険証への不安などから、解除の手続きが10月28日から可能となっているが、解除手続きの方法と、これまでに登録解除された人数を問う。

答 登録を解除するには、氏名・生年月日などを記入した申請書を窓口もしくは郵送で提出する必要があり、また登録解除については、令和6年11月末時点で113人の申請を受け付けているが、国が示す運用スケジュールでは申請から登録解除までに一定の期間を要するため、これまでに解除された人はいない。(福祉推進部長)

(その他の質問事項)
最低賃金、国民健康保険事業、河川の堆積土砂対策



田淵 紀子 議員
(子ども未来)

土のうの事前配備 などについて

問 これまでに浸水被害を受けた地区の住民の減災について、土のうの事前配備や、豪雨災害時に建物や地下に水が流れ込むのを防ぐ止水板設置の補助を行う考えはないか。

答 自然災害に対応するには、施設の整備の継続とあわせ、防災に効果的なソフト対策も必要と考えている。今後は、土のうの在り方を含め、他都市の先進的な取り組みを調査研究したい。(公営企業局上下水道部長)

「教職員等による児童生徒 性暴力等の防止等に関する 法律」への対応について

問 本法律では、「児童生徒等」について、学校に在籍する幼児、児童または生徒もしくは18歳未満の者と定義しているが、これは行為が行われたときとの認識でいいのか。卒業から長期間が経過した元児童生徒が被害を申告した場合の対応について問う。

答 被害の申告があった場合には、卒業から長期間が経過していても、訴えの内容を丁寧に聞き、被害を受けたとする当時の年齢や、当該教育職員の本市小・中学校での在籍状況などに応じて対応する。(教育委員会事務局長)

(その他の質問事項)
11月2日の大雨の状況および対応、地域猫活動支援事業の進捗と課題、シティープロモーション



小崎 愛子 議員
(日本共産党議員団)

学校給食の無償化について

問 市立小中学生の給食費について、小中学生とも、小学生のみ、中学生のみ、第3子以降を、それぞれ無償化した場合の予算規模を問う。また、無償化に対する市長の見解を問う。

答 現在の試算では、小中学生を無償化するには約18億円、小学生のみで約12億円、中学生のみで約6億円、第3子以降では約1億円が、毎年度新たに必要となる。無償化に対しては、自治体の財政力の差や所得の格差を是正するため全国一律の制度として国が対応すべき課題と考えており、引き続き、国に対して全国市長会などを通して要望していく。(教育委員会事務局長)

問 シルバーパスの発行や補助制度の創設は、高齢者の社会参加を促し、バスや電車の利用促進にもなると思う。2025年6月の議会発議で、高齢者の公共交通料金の割引などについては社会福祉担局部と連携しながら調査研究していくとしたが、その進捗状況について問う。

答 割引などについて交通事業者を確認したところ、割引制度を導入した場合も過去の経験から新たな需要はあまり見込めず、収入の減少分は市に補填してほしいとのことであった。また令和7年3月から伊予鉄バスと電車で全交通系ICカードが導入されるため、利用料金の変更は時間と費用が必要で、対応が難しいと伺っている。福祉推進部との協議では、本市は高齢者の支援や交通事業者への補助をさまざまな分野で実施しているため、新たな財源の確保が困難な状況であることを再度確認した。今後も、交通事業者を含め、割引制度を導入した場合の費用負担や運用面の課題について、引き続き協議していく。(都市整備部長)

(その他の質問事項)
生活保護受給者の就職支援、加齢性難聴者の補聴器購入に係る助成制度

本会議の動画は
こちらから
視聴できます

まつやま市議会だよりの
点字版、CD版を差し上げます

「まつやま市議会だよりの」点字版、CD版も発行しております。ご希望の方は、

議会事務局議事調査課
(TEL: 089-948-6652)
までご連絡ください。

公明党議員団								みらい松山					フロンティア まつやま				新風会			ともに 松山			まつやまチェンジ アクション			無会派				議 決 結 果	議 決 日					
																										共産		民社				子	松			
大塚 啓史	吉富 健一	清水 尚美	長野 昌子	太田 幸伸	泉 早苗	家高 佐苗	佐々木 亨	田坂 信一	池本 俊英	寺井 克之	若江 進	渡部 克彦	山本 智紀	大亀 泰彦	池田 美恵	矢野 尚良	本田 司	土井田 学	梶原 時義	門田 寛子	上田 貞人	河本 英樹	松波 雄大	渡邊 啓之	清水 義郎	田中エリナ	小崎 愛子	杉村 千栄	上杉 昌弘	武田 浩一	田淵 紀子	本田 精志				
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	×	×	☐	☐	☐	☐	☐	☐	×	×	☐	☐	×	☐	認 定	11月29日		
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	原案可決			
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	承 認		12月19日	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	原案可決	11月29日	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐							

討論

認定第1号令和5年度松山市一般・特別会計決算中、新型コロナウイルスワクチン接種事業、よりよい学校給食推進事業（民間委託）に反対

マイナンバーに関連する事業に反対
梶原 時義 議員（新風会）

論 討

認定第1号令和5年度松山市一般・特別会計決算中、固定資産税（土地分）、松山愛郷会負担金、まつまや市民シンボジウム、総合コミュニケーションセンター管理運営事業、土地の評価・課税事業、松山港国直轄整備事業地元負担金、JR松山駅付近鉄道高架事業促進期合同盟会事業、愛

12月定例会で審査された請願・陳情は次のとおりです。

請願の議決結果については、上記「議案等議員別表決結果一覧表」に掲載しています。



請 願

第24号	つえポンの設置を求める請願について
第25号	住民の、生命、自由及び幸福追求権が侵害されないよう、知事に伊方原発稼働同意の撤回を求める決議に関する請願について
第26号	学校給食の無償化を求める請願について
第27号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願について

陳 情

第24号	市長交際費について『広報まつやま』に掲載を求める陳情について
第25号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情について
第26号	大街道にオープン予定のワイン醸造所5,000万円支援に関する陳情について
第27号	松山市緑町における土砂災害に関する陳情について

議案等議員別表決結果一覧表

松山市議会 令和6年12月定例会

(○：賛成、×：反対)

議 案 等			議長	自由民主党議員団							
原	俊	司	猪野由紀久	菅 泰晴	角田 敏郎	松本 博和	白石 勇二	向田 将央	大木健太郎	岡 雄也	松本久美子
認定 1	令和5年度松山市一般・特別会計決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定 2	令和5年度松山市公営企業会計剰余金の処分及び決算の認定について	(決算の認定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		(剰余金の処分)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認 7	令和6年度松山市一般会計補正予算（第8号）を定める専決処分の承認を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認 8	令和6年度松山市一般会計補正予算（第9号）を定める専決処分の承認を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 130	令和6年度松山市一般会計補正予算（第10号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 131	令和6年度松山市競輪事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 132	令和6年度松山市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 133	令和6年度松山市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 134	令和6年度松山市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 135	令和6年度松山市卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 136	令和6年度松山市一般会計補正予算（第11号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 137	令和6年度松山市競輪事業特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 138	令和6年度松山市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 139	令和6年度松山市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 140	令和6年度松山市鹿島観光事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 141	令和6年度松山市水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 142	令和6年度松山市下水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 143	松山市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 144	松山市職員の退職手当に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 145	松山市総合計画策定条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 146	松山市救護施設、更生施設、授産施設及び宿所提供施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 147	松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 148	松山市生産緑地地区の区域の規模に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 149	第7次松山市総合計画基本構想を定めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 150	松山市姫ヶ浜荘に係る指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 151	松山市坂の上の雲ミュージアムに係る指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 152	松山市立子規記念博物館に係る指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 153	工事請負契約の締結について（青少年センター体育館大規模改修主体工事）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 154	工事請負契約の締結について（松山中央公園多目的競技場走路改修工事）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 155	工事請負契約の締結について（松山中央公園多目的競技場東棟増築主体その他工事）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 156	財産の取得について（移動式エンドレスカメラタワー）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 157	訴訟の提起について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 158	市道路線の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 159	市営土地改良事業（ため池等整備事業（桃ヶ谷地区））の施行について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 160	令和6年度松山市一般会計補正予算（第12号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 161	令和6年度松山市競輪事業特別会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 162	令和6年度松山市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 163	令和6年度松山市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 164	令和6年度松山市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 165	令和6年度松山市卸売市場事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 166	令和6年度松山市一般会計補正予算（第13号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 167	松山市職員給与条例等の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 168	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例及び松山市公営企業管理者の給与等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 169	市議会議員等報酬・期末手当及び費用弁償条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 24	つえポンの設置を求める請願について【撤回承認】		○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 25	住民の、生命、自由及び幸福追求権が侵害されないよう、知事に伊方原発稼働同意の撤回を求める決議に関する請願について		×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願 26	学校給食の無償化を求める請願について【継続審査】		○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 27	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願について		×	×	×	×	×	×	×	×	×
—	議員の海外派遣について		○	○	○	○	○	○	○	○	○

※共産：日本共産党議員団 民社：民社クラブ 子：子ども未来 松：松山一粒米の会 ※原俊司議員は、議長のため表決に加っていません。

請願第27号を採択することに賛成 杉村 千米 議員（日本共産党議員団）	請願第25号を採択することに賛成 小崎 愛子 議員（日本共産党議員団） 田淵 紀子 議員（子ども未来）	議案第169号市議会議員等報酬・期末手当及び費用弁償条例の一部改正についてに反対 小崎 愛子 議員（日本共産党議員団）	議案第136号令和6年度松山市一般会計補正予算（第11号）第2条第2表債務負担行為補正中、投票管理システムの構築及び運用保守業務委託、道後保育園運営委託に反対 田淵 紀子 議員（子ども未来）	議案第136号令和6年度松山市一般会計補正予算（第11号）第2条第2表債務負担行為補正中、投票管理システムの構築及び運用保守業務委託、マイナンバーカード交付事務事業、道後保育園運営委託に反対 杉村 千米 議員（日本共産党議員団）	議案第136号令和6年度松山市一般会計補正予算（第11号）第1条第2項第1表中、土木債、マイナンバーカード交付事務事業、愛媛県土木建設負担金（街路）事業（J・R高架事業関係分）および第2条第2表債務負担行為補正中、坂の上の雲ミュージアム指定管理委託、議案第151号松山市坂の上の雲ミュージアムに係る指定管理者の指定についてに反対 梶原 時義 議員（新風会）	認定第1号令和5年度松山市一般・特別会計決算中、松山市郷友会連合会運営補助事業、保育所事務費、資源化物持ち去り行為防止対策事業、松山市青少年育成市民会議運営支援事業、よりよい学校給食推進事業、および国民健康保険事業勘定特別会計中、国保システム管理事業、介護保険事業特別会計中、法改正等に伴う介護システム開発事業並びに後期高齢者医療特別会計中、後期高齢者医療運営管理事業（マイナンバー関係分）に反対 小崎 愛子 議員（日本共産党議員団）	認定第1号令和5年度松山市一般・特別会計決算中、海外行政視察関係事務、情報システム運用事業（マイナンバー関係分）、新規水源開発準備事業、戸籍事務事業および住民基本台帳事務事業（マイナンバー関係分）、マイナンバーカード交付事務事業、松山市郷友会連合会運営補助事業、笑顔de婚活まつりま巡り愛プロジェクト事業、保育所事務費（民間委託分）、福祉系システム運用サポート事業（生活保護システム分）のうちマイナンバー関係分、南・西グリーンセンター運営管理事業（業務委託分）、新南グリーンセンター整備事業、松山港国直轄整備事業、地元負担金、市営住宅維持管理事業（業務委託分）、青少年センター管理運営事業、図書館運営事業（民間委託分）、愛媛県人権教育協議会負担金、よりよい学校給食推進事業（共同調理場民間委託分）、および国民健康保険事業勘定特別会計中、国保システム管理事業、介護保険事業特別会計中、法改正等に伴う介護システム開発事業並びに後期高齢者医療特別会計中、後期高齢者医療運営管理事業（マイナンバー関係分）に反対 小崎 愛子 議員（日本共産党議員団）
--	---	--	--	---	---	--	---

委員会審査

12月定例会で委員会に付託された議案などについて審査を行いました。
主な質疑内容は次のとおりです。

総務理財委員会

採用試験事務について
土木技師に関する過去の採用状況および人材確保の取り組み
オファ型採用の就職サイトの活用方法
『暖暖松山』魅力発信事業について
『暖暖松山』のインスタグラムの開始時期とフォローの年代別割合
フリーペーパーとインスタグラムの各予算および今後の予算配分についての検討

文教消防委員会

松山市立小学校水泳指導等業務委託について
今後の水泳授業の方向性
番町小学校でプールを更新する場合

市民福祉委員会

と民間委託する場合の経費の比較
指導内容および水泳授業の時間の確保
保護者や児童からの意見や感想
工事請負契約の締結（青少年センター体育館大規模改修主体工事）について
工事の概要

マイナンバーカード交付事務事業について
電子証明書を更新しなかった場合の取り扱い
令和7年度から9年度の更新手続きの見込み数
本市のマイナンバーカード保有者のうち、更新手続きの対象者が占める割合
更新手続きに対応する臨時窓口の設置予定状況

道後保育園運営委託について
道後保育園を含めた運営委託園のうち、定員に達していない園の有無およびその原因
5年間の公定価格の伸び率をどの程度想定し、委託料を算定したのか

環境企業委員会

大西谷埋立センター水処理施設運営管理及び埋立等業務委託について

産業経済委員会

市営土地改良事業（ため池等整備事業（桃ヶ谷地区））の施行について

都市整備委員会

シェアサイクル推進事業補助金について
サイクルステーションの設置数および今後の増減予定
市有施設に設置予定のサイクルポートの利用可能台数および設置基準
レンタサイクル事業とシェアサイクル事業の違い
公園施設災害復旧事業（緑町土砂災害復旧工事）について
補正予算額のうち、公有財産購入費の内訳
購入する土地の面積および土地の価格の算定方法

松山市総合計画調査特別委員会

松山市総合計画策定案例の一部改正について
第7次松山市総合計画基本構想を定めることについて
総合計画の策定を今後どう進めていくか

松山市水道事業会計重要施設への給水ルートの確保事業について
重要施設への給水ルートの耐震化整備の状況
今後の重要施設への給水ルートの耐震化計画

商店街等活性化事業について
総務省のローカル100000プロジェクトについて本市での周知方法および今回採択された事業者に決定するまでの経緯
酒税法の許可に関し、現時点での免許取得の状況や今後の免許取得の予定
本市がワイン特区を申請する予定の有無
愛媛県産のワイン用ブドウの栽培の現状およびワイン醸造への県産ブドウの使用割合などの将来的な計画の有無
事業が計画通りに進まなかった場合の対応

議会開会前ミニイベントを開催しました

12月定例会初日の11月29日(金)、市民の皆さんに本イベントを通じて気軽に議場へ足を運んでいただき、市議会を身近に感じていただくことを目的に、日本コカリナ協会公認講師平松夕佳さんと愛媛コカリナサークル木音〜kanon〜の皆さんをお招きし、議場にて本会議開会前のミニイベントを開催しました。
8人が息のあった演奏を披露し、木で作られたコカリナのやさしい音色で議場は和やかな雰囲気に包まれ、演奏終了後には大きな拍手が送られました。



議会活動に関する自己評価を行いました

松山市議会では、松山市議会基本条例第27条の規定に基づき、「松山市議会基本条例の評価に関する要綱」を定め、同条例の趣旨に沿った議会活動が行われているかどうかについて、任期中に一度自己評価を行っています。
この度、各議員が今任期の議会活動を振り返り、本市議会の評価報告書として取りまとめました。
評価の対象は、「議会審議・改革」「行政監視」「情報開示・説明責任と政治倫理」「市民参画」「政策立案」の5項目です。
今後も、評価を行う過程で明らかになった取り組むべき検討項目を含め、市民の皆さんに身近で信頼される議会を目指し、市政の発展、市民生活および福祉の向上に全力で取り組んでいきます。

評価の対象	今回	前回比
全体評価	3.3	△0.1
1 議会審議・改革	3.4	+0.2
2 行政監視	3.4	△0.2
3 情報開示・説明責任と政治倫理	3.0	△0.6
4 市民参画	3.3	+0.2
5 政策立案	3.5	+0.1

(議長を除く全議員が5段階で評価)

「評価報告書」など、詳しくは松山市議会ホームページをご覧ください。





令和7年3月定例会の開催日程(予定)

3月定例会は、2月19日(水)から3月21日(金)まで開催される予定です。正式な日程は、2月12日(水)開催予定の議会運営委員会で決定します。なお、3月7日(金)は休会日ですが一般質問日となることもあります。

2月19日(水)	本会議	(開会、所信表明演説、提案説明)
2月28日(金)	本会議	(代表質問)
3月 3日(月)	本会議	(代表質問)
3月 4日(火)	本会議	(一般質問)
3月 5日(水)	本会議	(一般質問)
3月 6日(木)	本会議	(一般質問、委員会付託)
3月10日(月)	委員会	(市民福祉)
3月11日(火)	委員会	(環境企業)
3月12日(水)	委員会	(文教消防)
3月13日(木)	委員会	(産業経済)
3月14日(金)	委員会	(都市整備)
3月18日(火)	委員会	(総務理財)
3月21日(金)	本会議	(表決、閉会)



質問議員名は、議会ホームページ「令和7年3月定例会の日程」欄に掲載します。

観光振興議員連盟活動報告

～観光名所クリーンアップ活動～

松山市議会観光振興議員連盟の活動の一環として、12月29日(日)に松山城登城道の清掃ボランティアに参加しました。この清掃活動は、まつやま文化財サポートの会が、毎年この時期に参加者を募っているもので、年末年始に松山城を訪れる観光客の方に少しでも気持ちのよい観光をしていただきたいという願いを込めて活動を続けています。当日は、他の参加者とともに落ち葉やごみを取り除き、登城道は見違えるようにきれいになりました。

